

## ICT 端末を活用して、自分の発表の仕方や

## 発表内容について考える学習

第2学年 | もっと なかよし まちたんけん

## こんな子どもたちの姿が生まれました!

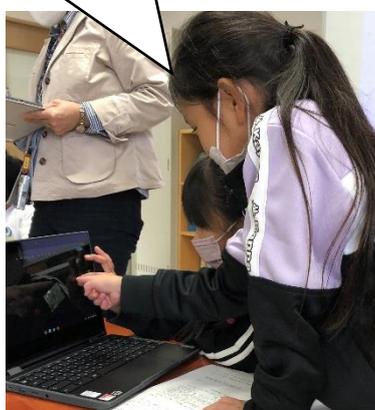
- 相手のことを想像して、伝えたいことや伝え方について考えることができました。
- 伝え合う活動を通して、仲間の意見を認めたり、理解し合ったり、受け入れたりすることの重要性に気付くことができました。

## ICT 端末の活用による効果



1年生に何を伝えたいのかははっきりしたかな?

ここは、太い線で囲むと分かりやすいよ!



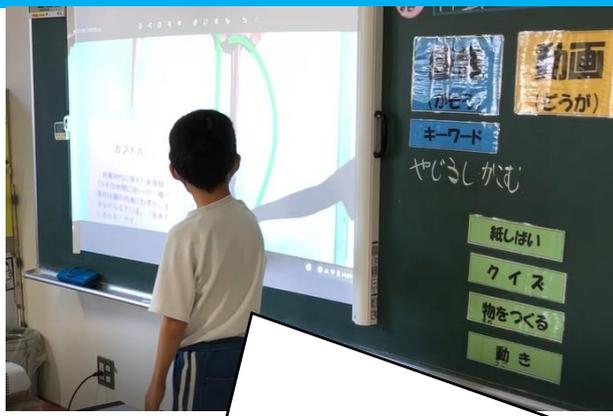
相手意識や目的意識を明確にし、写真や動画に自分が伝えたいことを書き込み、互いの発表について交流する。

- ・町探検で撮影した写真や動画の中から、自分が伝えたい内容と合う写真や動画を選ぶ。
- ・自分が一番伝えたい内容の部分に注目してもらえるように、選んだ写真や動画の中に、コメントや矢印などを書き加える。
- ・書き加えた写真や動画をもとに、ペアやグループで交流する。
- ・仲間からのアドバイスを受けた後に、再度自分の発表の仕方について考える。

## 教師の指導のポイント

- ▶ 児童に「誰を対象とするのか・何を伝えるのか・どのような方法で伝えるのか」を問いかけ、相手意識や目的意識を明らかにするように促す。

## 大型提示装置による効果



ペアやグループで交流したことをもとに、修正した発表内容を全体場で発表し、発表の仕方や工夫について交流する。

- ・話し手は、自分が伝えたいことが、相手に伝わるかどうかを考え、発表内容や伝える方法について発表する。
- ・聞き手は、発表内容や伝える方法について、どこがよかったのか、どこをどのように修正するとよいのかを伝える。
- ・仲間の発表を聞いて、様々な方法があることを知り、自分の発表にも取り入れる。

〇〇博物館がいつできたかについて調べたら、48年前にできていました。このことについてとてもビックリしました。このように、写真を使って伝えていきたいです。

## 教師の指導のポイント

- ▶ 仲間と共に活動や交流を進めていくことができるようにするために、お互いの思いを伝えたり、伝え合ったりする場面を何度も設定することができる単元指導計画を考える。